

国民平和行進 和歌山→広島コース

5月30日（木）串本町役場前広場

出発集会 17:15～



2019年
原水爆禁止

なくそう！
核兵器
No Nukes!



5月30日木曜日。晴れ。串本町の平和行進です。集会前に東牟婁原水協増田弘さんと総務課を表敬訪問。「被爆者募金箱」を置いて頂ける事に。集会前に結城町議会議長に「ヒバクシャ国際署名」役職署名のお願いをして、後日署名を頂ける事になりました。出発集会の役場前には、沿道で手渡す為風船3、4個がセットにされ括られています。出発集会の進行は増田弘さん。最初、串本町原水協藤田克彦さんが核兵器廃絶をめぐる情勢の報告をしました。「安倍の『橋渡し論』は、憲法9条と条約参加の軸は無く、『核の傘』で支えられている」との発言は印象的です。続いて、田嶋勝正町長のメッセージを代読紹介。結城力議会議長は「核兵器はいらない、廃絶すべきだ」と集会で挨拶頂きました。（町長から協賛金とペナントを、議長から協賛金を頂戴しました。）県事務局から昨日まで平和行進が1000人を超えた事、米国の臨界前核実験への抗議を米国大使館に送った事を報告。わかやま市民生協通し行進者栗栖曙富夫さんも決意表明。最後、集会宣言を採択。「青い空は」を仲江孝丸議員によるギター伴奏と歌付で合唱します。結城議長は、JR串本駅まで横断幕を持って歩かれました。串本町の平和行進の特徴は、風船平和行進です。商店街の家々に風船を持って「こんにちわ」と入ります。待っている方もいます。財布をあけ平和行進の募金をされます。行進途中に自転車でも下校する生徒さんにも風船を渡すと満面の笑顔で受取ります。もうひとつ特徴があります。沿道募金の多さです。今年は、大口寄付を集められる西野正和さんが3年ぶりに参加され、1万以上も募金を集められました。沿道募金合計は21,825円でした。集会・行進への参加者は40人。

今日の平和行進は、古座川町です。